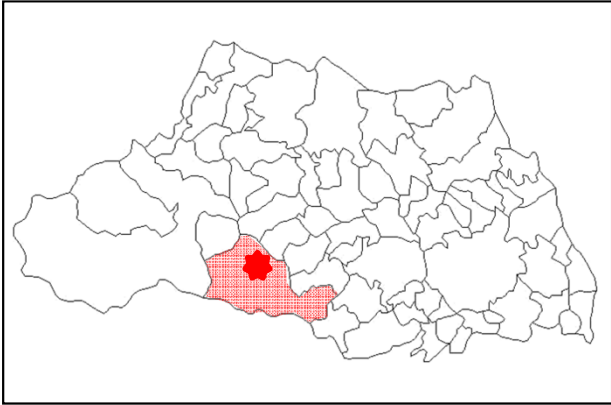
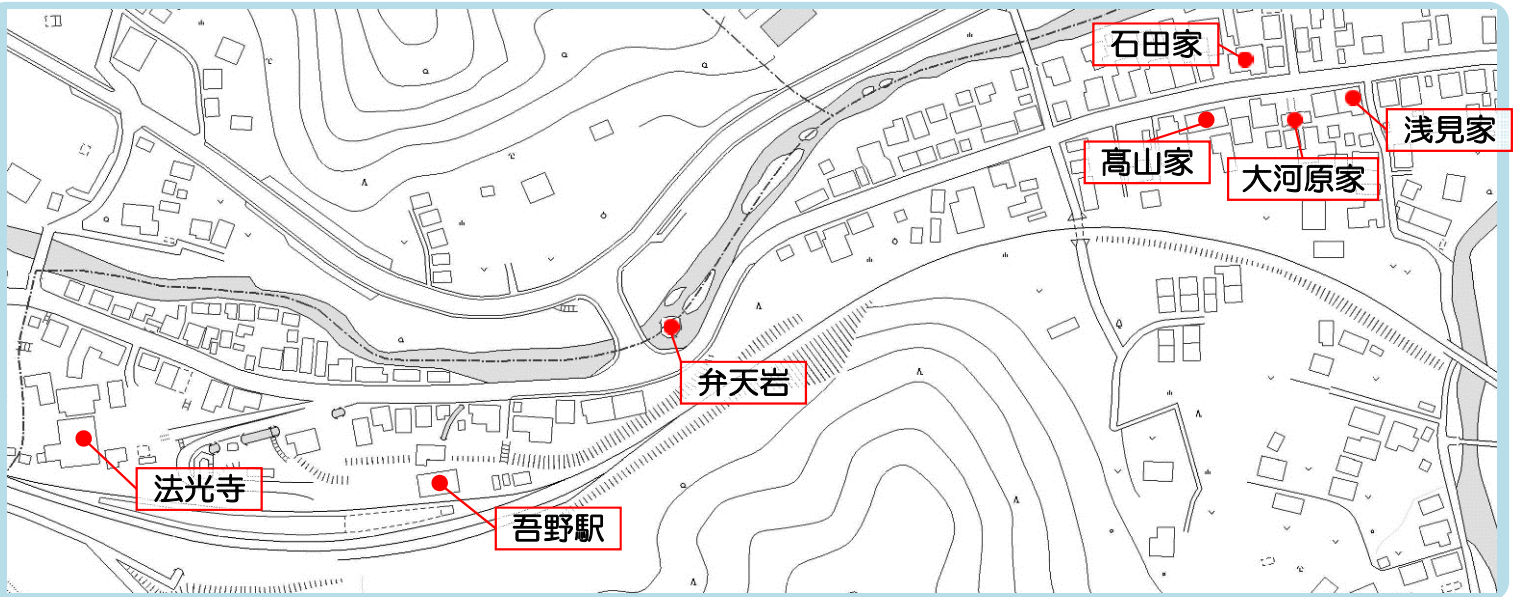


吾野宿の概要



地区の概要

- 交通
西武秩父線吾野駅下車
- なりたち
 - ・江戸時代に秩父往還道の「馬継ぎの宿」として発展
 - ・昭和の初め頃まで秩父絹や西川材の取引で賑わう



景観資源

浅見家



埼玉県景観重要建造物 平成27年3月27日指定

石田家



カフェギャラリー吾野宿
(大河原家)



高山家



吾野宿の取組

○年間イベントスケジュール

- | | |
|-----------|----------------|
| 3月 | 飯能ひな飾り展 |
| 6月下旬～7月上旬 | 高麗川ホテル観賞の集い |
| 8月下旬 | 吾野宿まつり |
| 11月（第3土日） | 東郷公園もみじまつり |
| 毎月第3日曜日 | 吾野宿の日（市、民謡おどり） |



飯能市イメージキャラクター
夢馬（むーま）



<飯能ひな飾り展>



<吾野宿まつり>

○エコツアー「吾野宿の武家民家でヨーロッパアンビュッフェを楽しむ」



○「説経節から学ぼう 飯能・吾野宿の歴史」



吾 野 宿

吾野宿のなりたち

吾野宿は江戸時代、秩父道の「馬継ぎの宿」として発展し、昭和の初め頃まで秩父絹や西川材の取引、秩父三山や秩父三十四ヶ所観音霊場にお参りする人たちで賑わいました。

江戸時代後期に編まれた「新編武蔵風土記稿」には、「・・・民家29軒を並べ、秩父街道の左右にありて、馬継ぎの宿場なれば・・・町は東西の通りにて、幅十間ばかり、長さ三町余り、・・・」、「・・・農民の稼ぎには炭を焼き、薪材木をきりだし、あるいは紙すきなどを業とし、女は養蚕して絹を織り出せり・・・」との記述があります。

民家29軒が並ぶ長さ三町（約330m）のまち並みは、今でも大きく変わっていません。



法光寺

吾野駅に隣接する法光寺は、寺伝によると、吾野要害山城主、岡部新左衛門入道妙高が源平合戦で活躍した父祖、岡部六弥太忠澄（おかべろくやただずみ）の菩提寺として至徳3年（1386）に創建したと伝えられています。寺の本尊「延命地藏菩薩」（木彫寄木造坐像）は埼玉県指定有形文化財となっています。



弁天岩

高麗川のなかの巨石に弁天さまが祀られています。

弁天さまは仏教における知恵、弁舌、音楽の女神で、聖なる川を神格化したものと言われています。



浅見家

浅見家は明治初期頃に建築されたと思われ、軒を深く前面に張り出した「出桁（だしげた）造り」が特徴の建物です。屋号が紺屋といわれ織物関係の店を開いていた頃、通りと主屋の間で定期的な市が開かれていた名残が今でもわかります。現在は瓦葺き屋根ですが、小屋裏調査により、建築当初は杉皮熨斗葺き（すぎかわのしびき）だったであろうことがわかっています。



に つ い て

石田家

石田家は大正時代に医者を開業した際に建てられ、下見板（したみいた）張りの外壁と縦長の上げ下げ窓が特徴の建物です。擬洋風建築と呼ばれるこの様式は、ハイカラな建物を求めた当時の医院建築や写真館などで好まれました。また、先祖は材木商であったことから、裏には筏の船着き場が設けられています。

※平成27年3月「埼玉県景観重要建造物」に指定されました。



高山家

高山家は元禄18年（江戸中期）に建てられ、「厨子（つし）造り」と呼ばれる低い2階を持つ民家です。かつての宿場の面影を今に伝え、300年以上前に組まれた梁からは、今なお松脂（まつやに）が染み出てくるといいます。

※平成27年3月「埼玉県景観重要建造物」に指定されました。



カフェギャラリー吾野宿(大河原家)

大河原家は武蔵七党のひとつ、丹党大河原孫四郎の出と言われています。江戸時代には旅籠をしており、江戸時代の紀行家である竹村立義の「秩父巡拝図絵」にもその様子が書かれています。

現在は休憩スペース「カフェギャラリー吾野宿」として活用され、吾野宿のシンボリックな存在となっています。

※平成27年3月「埼玉県景観重要建造物」に指定されました。



東郷公園

東郷公園は木曾御嶽山の行者鴨下清八氏がその生涯を賭して整備した公園です。公園内には日清・日露戦争で活躍した海軍軍人東郷平八郎元帥の銅像が立ち、大正14年4月17日に行われた除幕式には元帥自ら臨席され、その完成をみました。公園内に所狭しと植えられた樹木が、春の新緑時期には活力を、秋の紅葉時期には癒しを訪れる人々に与えてくれます。

今回のまち歩きのルートには入っていませんが、まち歩きの後にぜひ足を運んでいただき、見事な紅葉をお楽しみください。



